

# NEC iStorage NS300Rm Startup Guide スタートアップガイド



本機を取り扱う前に本書の説明をよくお読みください。本書は大切に保管してください。はじめに、添付の「安全にご利用いただくために」を参照して、本製品に関する安全上の注意事項を確認してください。記載の内容を守らずに製品を使用した場合、誤動作だけでなく、けがや発煙、火災等、意図しない安全上の問題が発生する原因となります。本製品をご使用になる前に、お読みください。

## 正しくご利用いただくために

安全に、正しくご利用になるための情報を記載しています。  
 ・本書は、必要な時すぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。  
 ・本機をご使用になる前に、本書およびユーザーズガイドを必ずお読みください。  
 ・本文中の名称については、ユーザーズガイドの「各部の名称と機能」を参照してください。  
 ・アップデートの確認と適用について  
 本機および周辺機器のBIOS、ファームウェア(FW)、ドライバーなどのアップデート情報を別途Webサイトに公開しています。システムの安定稼働のため、常に最新のアップデートを適用することをお勧めします。最新アップデートのダウンロードおよび適用は、お客様自身で実施してください。  
 ・バックアップの実施について  
 コンピューター・プログラムおよびデータの破壊、消滅に備え、本機のすべてのデータを定期的にバックアップすることをお勧めします。バックアップは、お客様自身で実施してください。

## 本製品の利用目的

本機は、高性能コンピューターの平和利用に関する日本政府の指導対象となっています。ご使用になるときは、以下にご注意願います。  
 1. 不法侵入、盗難などの危険がない場所に設置してください。  
 2. パスワード等により、適切にアクセス管理してください。  
 3. 大量破壊兵器、ミサイルの開発、またはそれらの製造などに関して、不正にアクセスされるおそれがあるときは、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。  
 4. 不正使用が発覚したときは、すみやかに弊社相談窓口までご連絡ください。  
 弊社相談窓口: ファーストコンタクトセンター  
 電話番号 : 0120-5800-72  
 受付時間 : 9:00~12:00 13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日を除く)

## 説明書の参照

説明書や各種ガイドは、以下のWebサイトに最新版が掲載されています。  
<https://www.support.nec.co.jp/>  
 「NEC サポートポータル内検索」より、「F3170103105」および「F3170101815」で検索してください。

なお、一部の説明書については Starter Pack にも格納しています。Windows が動作しているコンピューターに Starter Pack をセットし、DVD 上の「Start up.bat」を実行してメニューを起動後、「説明書」をクリックします。



## Starter Pack の入手

以下のサイトから Starter Pack の最新版を入手してください。  
<https://www.support.nec.co.jp/>  
 「NEC サポートポータル内検索」より、「iStorage NS Starter Pack Version S8.10-014」で検索してください。

## 保守サービスについて

保守サービスのご相談は、ご購入元、NEC など承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは『保証規定&修理に関するご案内』をご覧ください。

## チェック!!

- ・ご購入元、NEC など本製品の修理を依頼される際は、設定したパスワードを解除しておいてください。
- ・故障箇所によっては、本製品購入後にハードディスクやメモリ内に保存されたデータを完全に復旧できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

箱を開けてから本機が使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

## Step 1 付属品を確認する

梱包箱を開け、次の付属品が揃っていることを確認してください。これらの付属品は、セッティング、保守などにおいて必要となりますので大切に保管してください。

- 本体×1
- 安全にご利用いただくために×1
- ご使用上の注意×1
- フロントベゼル×1
- ソフトウェアパッケージ一式\*3
- 診断用プログラム媒体×1
- スタートアップガイド(本書)×1
- ラックレール×2
- セキュリティーキー×2\*2
- ACケーブル(100V用)×搭載電源と同数
- 保証書×1\*1



- 添付品は、なくさないよう大切に保管してください。
- セットモデルと BTO(工場組込み出荷)製品は、「組込み製品・添付品リスト」も併せてご確認ください。

- \*1 梱包箱に貼り付けられています。
- \*2 フロントベゼルに貼り付けられています。
- \*3 ソフトウェアパッケージの内容については、ソフトウェアパッケージ内の構成表を参照してください。

## Step 2 内蔵オプションを取り付ける

内蔵オプションを取り付けます(オプションを購入していないときや、BTO で購入されたお客様は Step3 へ進んでください)。



「ユーザーズガイド」の「内蔵オプションの取り付け」、およびオプションに添付の説明書を参照してください。

## Step 3 ラックを適切な場所に設置し、本機を取り付ける

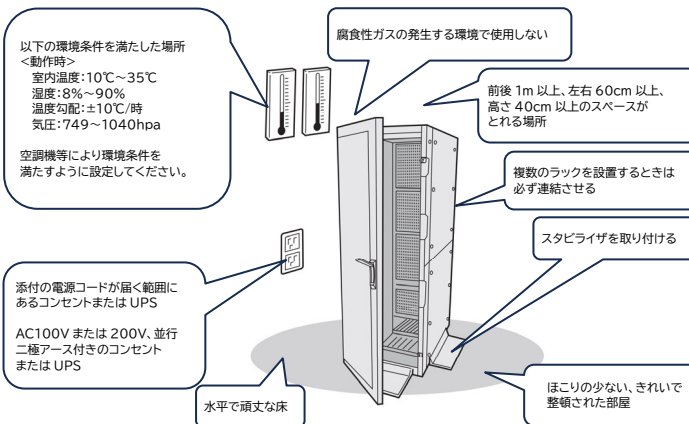
本機は EIA 規格に適合した 19 型(インチ)ラックに取り付けて使用します。ラックの設置は次の条件を守ってください。



「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。

## 注意

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)や腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)が含まれる環境では使用しないでください。



## 設置・保管に関する注意事項



### 環境条件を満たさない場所に設置・保管しない

本製品を次に示すような場所や付属品の「安全にご利用いただくために」の「1.9 本機の設置について」で指定している環境条件を満たさない場所に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ・ほこりの多い場所。
- ・直射日光が当たる場所。
- ・屋外など環境が安定しない場所\*
- ・給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- ・不安定な場所。



\* 外気には粉塵や火山灰、塩分、設置環境基準を超過する湿度(水分)等を含んでいる可能性があります。外気と接する環境で使用する場合は設置の環境条件を満たさない可能性があります。



## 腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。本機が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがあるときは、販売店または保守サービス会社にご相談ください。



## Step 4 ケーブルを接続する

ケーブルを本機に接続します。

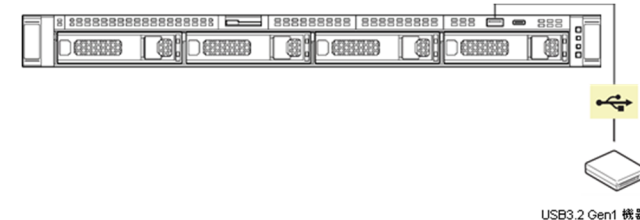


- 初期設定時、本機に接続するケーブルは、LAN ケーブルと添付の電源コードのみです。その他のケーブルを接続する必要はありません。また、運用時に複数の LAN ケーブルを使用する場合でも、まず1つの運用系 LAN ポートに接続して初期設定を行い、設定完了後に残りの LAN ポートに接続してください。下段はオプション増設を含む参考図です。
- 本機への各種オプションの取り付け・取り外しは、本書で示すセッティングが完了した後に行ってください。

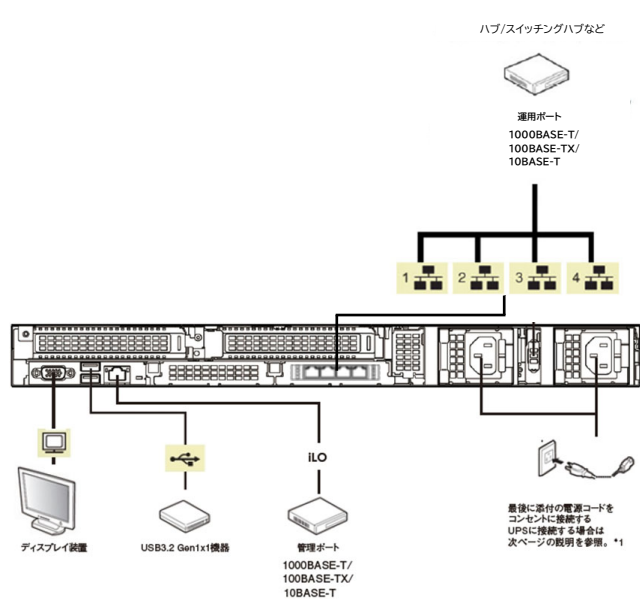


下段はオプション増設を含む参考図です。「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。

## 装置前面



## 装置背面



\*1 電源コードは、15A 以下のサーキットブレーカーに接続してください。

## Step 5 管理 PC を準備する

初期設定は、本機と同じネットワーク上にある管理 PC 上のリモートデスクトップ接続(以降、RDP 接続と記載)を使用して行います。

管理 PC は、Windows Server 2019 以降のサーバー OS、または、Windows 11 以降のクライアント OS を搭載した装置を用意してください。

初期設定時は、管理 PC の IPv6 機能(OS 既定で有効)、および、マルチキャスト DNS 機能(OS 既定で有効)を使用して、本機を探索し、RDP 接続します。このため、管理 PC およびネットワークが IPv6 およびマルチキャスト DNS を使用可能である必要があります。(詳細は、管理者ガイド(概要編)を参照してください)

初期設定に必要な情報として、以下を事前に決定してください。

- ・ネットワークへの接続形態(ワークグループ/既存のドメインに参加)
- ・IP アドレスの設定方式(DHCP サーバー使用の有無)
- ・コンピューター名
- ・ワークグループ名 または 既存のドメイン名
- ・管理者のパスワード
- ・IP アドレスとサブネットマスク(IP アドレスを直接指定する場合)
- ・デフォルトゲートウェイの IP アドレス(IP アドレスを直接指定する場合)
- ・DNS サーバーの IP アドレス(DNS サーバーを直接指定する場合)

\* 管理 PC は、本機と同一 LAN に接続し、他のネットワークへの接続は行わないでください。

\* 出荷時の iStorage NS のコンピューター名は同一であるため、同一ネットワーク上で複数の iStorage NS を初期設定する場合は、1台ずつ起動して初期設定を行ってください。

## Step 6 電源を ON にする

本機の電源を ON にします。OS が起動するまで 5 分から 10 分程度待ちます。

## Step 7 管理 PC から RDP 接続を行って設定する

以下の手順で、管理 PC を使用して RDP 接続を行い、必要事項を設定します。設定の詳細は、管理者ガイド(概要編)を参照してください。

- ① 管理 PC 上で mstsc.exe を実行し、[リモートデスクトップ接続]を起動します。
- ② 接続先に本機の初期コンピューター名「NEC888-12345678」を入力します。
- ③ ユーザー名に「administrator」を入力し、次にパスワードを入力して[OK]をクリックします。



出荷時のパスワードについては、本機に添付のスタートアップガイドに記載されています。



画面の右側に「ネットワーク」の画面が表示される場合があります。「はい」をクリックすると、ネットワーク探索を行うためのポートが開放されますが、iStorage NS シリーズでは本機能は有用ではありませんので、「いいえ」をクリックすることを推奨いたします。

- ④ RDP 接続の画面内で[Ctrl + Alt + End]キーを押します。( [Ctrl + Alt + Delete]ではないので注意してください)
- ⑤ 本機に接続されていることを確認し、[パスワードの変更]をクリックして、パスワードの変更を行います。



- 本機のセキュリティを保つために、出荷時の administrator のパスワードを必ず変更してください。
- パスワードの文字数は 6 文字以上である必要があります。また、パスワードには、英大文字、英小文字、数字、記号の 4 つの種類のうち 3 つの種類が使用されていなければなりません。
- パスワードの有効期限は初期設定では 42 日になっておりますので、お客様のポリシーに合わせて適宜変更してください。
- パスワードを変更した際には、Step10 に記載のガイドを参照し、NIAS のサービスを起動する際の資格情報のパスワード情報に反映する必要があります。

- ⑥ 必要に応じて、ncpa.cpl を実行し、[ネットワーク接続]にて以下の項目を設定します。

IP アドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/DNS サーバー



本作業中の RDP 接続が IPv4 経由で確立していた場合、IPv4 アドレスを変更した瞬間に、RDP 接続が切断されます。この場合、再度コンピューター名または変更後の IPv4 アドレス指定で RDP 接続し直してください。(本機の再起動は不要です)

- ⑦ 日時が自動更新の環境でない場合、日付と時刻を設定します。[管理者メニュー]から[日付と時刻]をクリックします。

- ⑧ コンピューター名の変更、および、必要に応じてドメイン参加を実施します。sysdm.cpl を実行し、[システムのプロパティ]から[コンピューター名]タブの[変更]ボタンをクリックします。(再起動が必要となります)

## Step 8 Agentless Management Service (AMS) をセットアップする

### Agentless Management Service (AMS)

Agentless Management Service (AMS)は、OS 上で動作し、iLO が直接収集できない OS イベントなどの情報を iLO へ送信するサービスです。AMS が iLO と連携するためには、アプリケーションアカウントを作成する必要があります。詳細は以下のサイトから Starter Pack の最新版を検索して、Web サイトに掲載されている「Agentless Management Service (AMS) を使用する注意事項」の最新版を確認して、アプリケーションアカウントを作成してください。

<https://www.support.nec.co.jp/>  
(「NEC サポートポータル内検索」より、「FS8.10-014」で検索してください。)

## Step 9 ESMPRO をセットアップする

NEC が提供するサーバー管理・監視ソフトウェア「ESMPRO®」のセットアップをします。

### ESMPRO/ServerAgentService

ESMPRO/ServerAgentService は ESMPRO/ServerManager と連携し、iStorage NS シリーズの監視、および各種情報を取得するためのソフトウェアです。NEC iLO 搭載装置を管理する場合、ESMPRO/ServerAgentService は NEC iLO から情報を取得しますが、情報を取得する際に NEC iLO アカウント情報 (ログインユーザー名、パスワード)の登録が必要です。以下のソフトウェアをご利用の場合も必要です。

- RAID 通報サービス
- 装置情報収集ユーティリティ
- サーバ診断カルテサービス

本機をお使いの場合は、NEC iLO アカウント情報の登録が必要です。必ず NEC iLO アカウント情報の登録を実施してください。



NEC iLO アカウント登録ツール インストールガイドを参照してください。

- ① Administrator 権限のあるアカウントでサインインします。
- ② Windows システムツールからコマンドプロンプトを起動します。
- ③ 本ツールの格納フォルダーにカレントディレクトリを移動します。  
> cd C:\¥Program Files¥iLOUserSet
- ④ 下記のコマンドを実行して、iLO アカウント情報を登録します。  
> iLOUserSet -u "UserName" -p "Password"  
各コマンドオプションは省略できません。パスワードがないときは下記のように "" を指定してください。  
> iLOUserSet -u "UserName" -p ""  
iLO アカウント情報に使用可能な文字は、アルファベット・数字・記号です。漢字・ひらがな等は使用できません。ユーザー名は、1 から 39 文字で指定してください。パスワードは、0(パスワードなし)から 39 文字で指定してください。パスワードなしは、"" と指定してください。
- ⑤ コマンドプロンプトに「Registered.」が表示されれば登録は完了です。システムの再起動は不要です。コマンドプロンプトの表示を確認し、エラーがなければ登録は完了となります。

### ESMPRO/ServerManager

ESMPRO/ServerManager は iStorage NS シリーズと同一のネットワーク上にある管理 PC にインストールするソフトウェアです。ESMPRO/ServerManager は、メンテナンスガイドを参照してインストールしてください。

## Step 10 NIAS (機能制限ライセンス) をセットアップする

機能制限版 NIAS(NEC Information Assessment System)はファイルサーバーを健全な状態に保つことを支援する製品で、ファイルシステムの現状を把握する機能(見える化)を持ち、ファイルサーバー運用の TCO を削減します。本機には、機能制限版 NIAS がインストール済みとなっていますので、「NIAS(機能制限ライセンス)簡易設定ガイド」を必ず参照してください。

以上でセットアップは完了です。引き続き、管理者ガイドを参照して必要な設定を行ってください。

### お読みください

#### OS の再セットアップについて

OS を出荷状態に戻す際は、コンソールが必須となります。再セットアップの完了は、コンソール上に「OS の復旧が正常に完了しました。」というメッセージが表示されたことにより確認します。手順の詳細はメンテナンスガイドをご参照ください。

#### 増設メモリについて

搭載メモリが 32GB を超えている場合は、ページファイルやダンブファイルの作成先ドライブを考慮する必要があります。詳細は、管理者ガイド概要編「メモリを増設する」をご確認ください。

#### ボリュームサイズの変更について

ユーザーボリュームサイズを変更する場合は、データを格納する前に対応が必要です。手順については、管理者ガイド概要編「ボリュームを検討する」をご確認ください。

#### データディスクオンラインについて

導入および OS リストア後の初回起動時、または RAID を再構築したとき、データディスクがオフラインになることがあります。詳細は、メンテナンスガイド「6.2.1 バックアップ DVD-ROM を用いたインストール - (7) 再インストール後の確認」をご確認ください。

#### エンドユーザーによるパスワードの変更について

本機のユーザーのパスワードをエンドユーザーがリモートから変更するためには、本機上での設定が必要です。手順については、管理者ガイド概要編「セキュリティの設定を変更する」をご確認ください。

#### NIC チームングについて

OS の NIC チームング機能を利用する場合は、すべて同じ速度の NIC を用いてチーム作成してください。

#### 電源制御機能の使用について

本機には電源制御機能をサポートしていないアプリケーションが含まれています。スタンバイ/休止状態で運用しないでください。

#### シャットダウン操作について

本機の出荷状態では、誤操作によるシャットダウンを防止する目的で、POWER スイッチ押下によるシャットダウン機能を無効化しています。シャットダウンを行う場合は、管理 PC のリモートデスクトップから操作してください。UPS を接続している場合は、UPS の管理ソフトウェアによるスケジュールシャットダウンを利用することもできます。

#### NTFS 圧縮機能について

本機では出荷状態において NTFS 圧縮機能が使用できません。NTFS 圧縮機能を使用する場合は、アロケーションユニットサイズを「4096 バイト」としてボリュームを再フォーマットしてください。手順については、管理者ガイド概要編「ボリュームを再フォーマットする」を参照してください。なお、本設定を行った場合は、シャドウコピー機能が使用できません。

#### Storage Spaces について

Storage Spaces は RAID 機能が有効になっている物理ディスクをサポートしていません。iStorage NS シリーズでは、RAID 機能を標準で実装しており、無効化することが出来ません。このことから、iStorage NS シリーズにおいては Storage Spaces をご利用頂くことはできません。

### iStorage NS シリーズのご利用にあたって

iStorage NS シリーズは、サポート情報を以下のサイトに公開しています。定期的に参照するか、RSS の配信登録を行い、製品をメンテナンスすることを推奨します。  
<https://www.support.nec.co.jp/TopHWGuidanceContents.aspx>  
また、有償の保守サービスとして「PP-サポートサービス」を用意しています。本サービスを契約すると、電話や電子メールなどのお問い合わせ、ご契約者様専用 ID で Web サーバーへのアクセスなどが利用でき、ソフトウェアの Q&A や技術情報などを参照できるようになります。また、ソフトウェアのリビジョンアップ(修正プログラム)情報の提供などもご契約者様だけのサービスになります。「PP-サポートサービス」の詳細内容については、以下をご覧ください。  
「PP-サポートサービス」ご案内のページ  
<https://jpn.nec.com/service/support/maintenance/service/pp-support.html>

### ハードウェア修正情報通知サービスのご案内

ハードウェア製品のファームウェア・ドライバ等の新規掲載・更新情報をお知らせするメール配信サービスです。修正情報の確認にご活用ください。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140108147>

### 商標について

EXPRESSBUILDER、ESMPRO は日本電気株式会社の登録商標です。Microsoft および Windows、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

© NEC Corporation 2026  
NEC の許可なく複製・改変などを行うことはできません。